

# 孫たちと爺々のオリエンテーリング

No.40

武石雄市 (M70A)とその孫・孫・孫

オリエンテーリング過疎地の山形在住 28年の爺爺。明けても暮れても生活の全てがオリエンテーリング。爺々の生き様を孫達はどう思っているか？

孫たちよ！

自然を愛し敬う、他人を気遣う思いやり心がある野生的文化人になれ！



ぼく（北村空来）とわたし（渡辺季香）もオリエンテーリングをやりま

## 自分でやりたい 4 歳児

空来君と季香ちゃんは従兄妹同士の4歳児、たまに会うととても仲良く遊びます。

オリエンテーリングは道じゃないところにポストがあるので、草や枯れ木の枝などが邪魔で歩くのが怖かった。

空来君は一人っ子で兄弟が居ない。ママと一緒に5月25日（日）爺々が開いた大会に出ることになった。もちろん季香ちゃんと一緒にだからうれしい。

みんなのまねをしてスタートを飛び出した。ママは地図を見ているので二人に追いつかない。

空来 「ママ 早くー！」

季香 「そうだ！ちずを見なくちゃポストが分からないよ」

空来 「1にいくんだらう、1を探せばいいじゃん」

季香 「1に行っても1と書いてないんだ

よ、ミーちゃんママー季香ちゃんたち何番に行くの？」

ママ 「31番だよ、その大きな石のかげにないの？」

空来 「あつたー！！」

季香 「そらくん、パンチするんだよ」

ママ 「そらくん、別の枠にパンチしちゃつとじゃない、1のわくにしっかりおすのよ」

空来 「分かったよ、自分でやるよ！」

ママ 「ほら、季香ちゃんのようにちゃんと1番にパンチしないと失格になって賞品もらえなくなるのよ」

## 結果を出した中学生

爺々夫婦には長女が産んだ中3（幸）を年長に4人・1人・4人と合わせて9人の孫が居る。幸は中学ではサッカー一部で部活している。さくらんぼ大会の10日ほど前電話が掛かってきた。

幸 「いいい、さくらんぼ大会はいつだっけ？」

爺々 「6月28と29日だよ、どうした？」

幸 「俺と東野が参加できるかもしれないと思って聞いてるんだけど」

爺々 「サッカーの県大会にいけなかったの？万が一の時のため、二人の申し込みしてるよ」

幸 「ありがとう爺々、東野に聞いて後で又電話するね」

爺々 「申し込んだクラスは瑞希君（町井）もエントリーしているM20Aだよ、今年の20Aはエントリーが多いのでお前たちも参加してくれるとレースは俄然面白くなるね」

昨年から機会があれば15歳と18歳クラスを乗り越えてM20Aのクラスに出場している。残念ながら公認大会では県協会から推薦状を提出しても認められない。

レースの結果は、彼ら3人の中高生が全て上位に食い込み総合では2・3・4位に入賞し大健闘だった。身内だし、手前味噌になるが3人とも確実に成長している。弊害があった過去の轍を踏まないためにも、何より彼らに希望を与えるために参加できるクラス（IOF付録1、年齢クラス1.2）の権利回復を早急に願うものである。

## 一人で出来るよ

さくらんぼ大会二日目

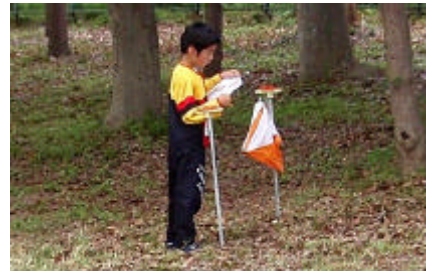
来生 「おばあさん 綺羅君は？」

祖母 「さっきスタートに行ったよ」

来生 「雨だけど ぼくもそろそろ行こうかな」

祖母 「らいちゃん 一人で大丈夫？」

来生 「うん、ぼくきのうも一人で回れたから大丈夫だよ」



地図で番号を確かめている来生くん

大会終了の翌日、夫婦で綺羅と来生を話題にし、小1の来生も完全に地図とコンパスでオリエンテーリングをしていることの成長を喜んだ。

## わーい！さくらんぼ！

爺々のサービスは子供たちに大好評。

1日に3レースもあって忙しいはずなのにさくらんぼ大会常連参加の子供たちを、さくらんぼ園で、もぎ取り体験に連れて行った。

脚立に登って得意になったり、真っ赤で大きなさくらんぼを自分でとって食べられ大満足。連れてきた爺々も目がきらきら輝き喜び子供たちを見て大満足。

将来、オリエンテーリングで仲良しのライバルになってほしいものです。



（武石雄市）